

安来市まちづくりタウンミーティング 開催レポート

2025.07.22 Tue／07.23 Wed／07.28 Mon

開催概要

目的	次期総合計画の基本構想（案）に対する意見徴収を行う（パブリックコメントの一環）とともに、地域のあるべき姿についての対話の機会とする。
日時・会場	安来会場（安来中央交流センター） 7月28日（月） 広瀬会場（広瀬中央交流センター） 7月23日（水） 伯太会場（伯太わかさ会館） 7月22日（火）
プログラム	19:00 開会 19:05 次期総合計画基本構想案の説明・質疑応答 19:30 グループワーク 10年後の地域のあるべき姿は？ 地域のあるべき姿の実現に向けて地域や住民が取り組むことは？ 20:30 閉会
参加者	安来会場 13名 【年代内訳】 40代 2名／50代 5名／60代 4名／70代以上 2名 広瀬会場 20名 【年代内訳】 20代 1名／30代 1名／40代 6名／50代 5名／60代 4名／70代以上 3名 伯太会場 17名 【年代内訳】 30代 3名／40代 6名／50代 1名／60代 6名／70代以上 1名



安来会場



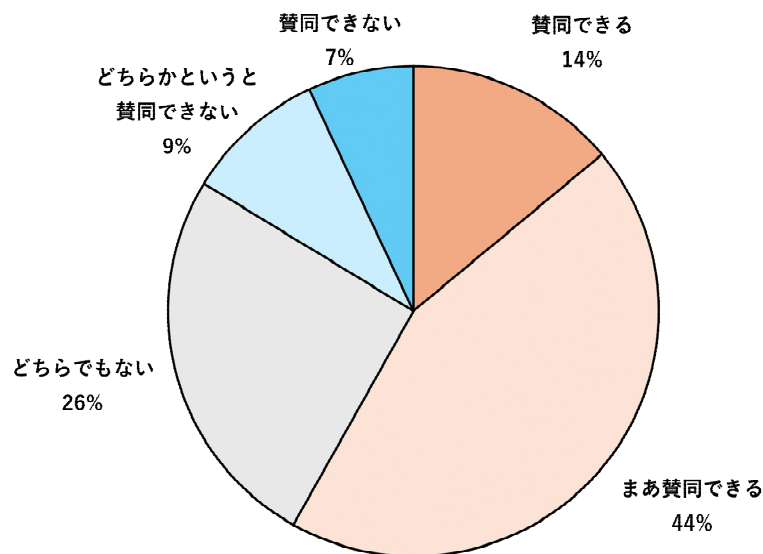
広瀬会場



伯太会場

第3次安来市総合計画基本構想案に対する意見

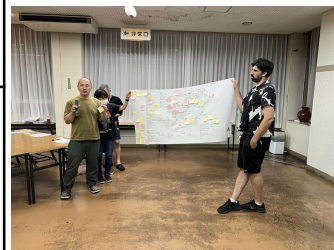
●次期「総合計画」の将来像や基本構想に賛同できますか？（n=43）※無回答除く



賛同できる	- 安来市の活性化のベースとして必要と思うから - より多くのアクティビティを創出することで、訪問者と居住者の数が増加します
まあ賛同できる	- プランナーが立てたものではなく地域住民の意見を取り入れる姿勢が見えた。 - 将来像や基本姿勢が漠然としていて、具体的に考えることが出来にくいですが、何となく賛同できそうな気がします。
どちらでもない	- 具体的にもう少し勉強してみます。 1番にやりたいこと、やるべきことが分かりづらかった。
どちらかというと賛同できない	- 構想計画は良いが、具体性に欠ける - 個々の魅力が連携されていない
賛同できない	- ビジョンが分かりにくい。ワザにこだわりすぎて、若い世代には伝わりにくい。歴史はとても大切だが… 「技」は表面的な感じがする。もっと内面的な魅力を感じられるワードが良い！

タウンミーティングの様子 @安来中央交流センター

	10年後の地域のあるべき姿は？ (大切にしたい地域の“ワザ”／解決したい課題)	地域のあるべき姿の実現に向けて 地域や住民が取り組むことは？
保健 医療 福祉	安来で出産ができない（産科がない）／医療福祉の質の維持／交流センター単位の集落（小さい拠点）で医療や商店を用意すべき／高齢者が住めるまちづくり	医療ビレッジ／運動できる施設
子育て 教育 文化	小学校の下校時の熱中症対策を！／第一中にしかない部活があり、子どもが小学校の時に取り組んだ部活が続けられない状況がある	学生の就職支援／若者－年配 一緒にワールドカフェを
防災 防犯	防災活動、災害計画（お年寄りの方の情報）／地域の危機には力を結集できる。他の地域にはない／どこの自治体もクールシェルターで公共施設を開放し始めている	原発事故時の避難計画の見直し／熱中症対策／クールシェルターとして公共施設も民間施設も開放する
産業 観光 雇用	若い人が安来で働きたいって思えるように／起業する人、挑戦する人を応援する人がたくさんいる／和鋼博物館のレストラン再開、安く貸せる	tax advantage investment（税制優遇のある投資）、donation drive tools（寄付型ドライブツール）／インバウンド対策／東京で働く安来で暮らす／観光スポットをつなげる
都市基盤 生活	安来駅にエレベーターを付ける／まちなかに駐車場を確保する／農村部にも買い物バスがあれば安心	コンパクトシティ（アルテピア付近）／鉄道駅をつくる／公共施設活用／どこにでも移動できる移動手段（公共交通）
自然 環境	マイクロプラスチックの問題を解決できるようにして他地域に展開／月1～2回みんなでゴミ拾い	公園・河川等の危険な植栽の整理／釣りのエリアをつくる
参画 協働 行財政	AI活用の先進市になっている／地域通貨、ボランティアポイントなどもらえるとゴミ拾いすると足しになるかも／自治会が地域を支える組織として活性化している／ネガティブ以上にポジティブを発信したい	安来市の補助金の効率活用／タウンミーティングの参加者増／市民の声が反映される仕組み／コミュニティスペース／中心市街地活性化協議会をつくる



タウンミーティングの様子 @広瀬中央交流センター

	10年後の地域のあるべき姿は？ (大切にしたい地域の“ワザ”／解決したい課題)	地域のあるべき姿の実現に向けて 地域や住民が取り組むことは？
保健 医療 福祉	高齢者が生活しやすい環境づくり／高齢者が住みやすい町（買い物以外）／市民病院の老朽化	広瀬の介護の学校がうまく使えないか／出産・子育てへの支援／安心、子育て、病院、出産、教育
子育て 教育 文化	子どもが集まる場所（公園や図書館）が充実するといいい／公共施設が整っていてほしい（安来・広瀬・伯太ともに）／高校生を松江に行かせない／小学校が少なくなる／文化の発展	子どもたちに「ここはいいところだ」と言い続ける／子どもたちと自分も大人の関わりを増やす／安来に大学をつくる（専門学校）／保育園、学校、教育の充実
防災 防犯	安心、安全に生活できる／治安が良い／体育施設の維持管理 かなり古くなっている	自分たちで出来る事、ボランティアを増やし見守りの拡充
産業 観光 雇用	若者の農業、若者の働く場／雇用の場の創設／働く場所がない／観光活性化／自営業者の発展、継承	地元の人が地元のお店を使う／職人さんが腕をふるう場所をつくる／SNSの活用を／後継者（ファン）を募集する
都市基盤 生活	空き家問題の解消／町内の道の整備／公園の活用／コンパクトシティ／自治会の統廃合	バス（市） 高校生の利便性／交通の便が良くなると…
自然 環境	自然と景観の保持／蛸がいる町、自然／川遊び／今ある資源の活用 木、山、水を生かす技術／中山間地農業、ブランド米	ダムの上流は水源保全地域とする＋他地域との交流／中山間地の農地を守る（例：米を高く買う、保全補助）／草刈りなど環境整備作業／1人1人が環境を守る、自然を守る
参画 協働 行財政	地域のつながり、支え合いが続く／安来（広瀬）として残っている／松江に統合されてない／市民ファースト	行政＋民間・企業／行政が文化財に推薦する。月山、祇園さん／行政が地域の職人さんを活用／リーダーの育成／行政からのフォローアップ



タウンミーティングの様子 @伯太わかさ会館

	10年後の地域のあるべき姿は？ (大切にしたい地域の“ワザ”／解決したい課題)	地域のあるべき姿の実現に向けて 地域や住民が取り組むことは？
保健 医療 福祉	ゆりかごから墓場まで暮らせるまち／困りごとを気軽に話せる／アドバイス・共通の話題で盛り上げられる／老人福祉施設がある	
子育て 教育 文化	高校生が小学生たちを教える仕組み（cf.海士町の島留学）／子どものうちから伯太の良さを楽しめるような機会を／小・中学校の集約、子育てしやすい町ぐるみの町／保幼小中、社会教育までつながる学びを	子育て特化区にしていく覚悟／困りごとを解決できる専門職を輩出、古民家学校活用／後継者プロジェクト／有償型インターンシップ／母里・安田の子育て
産業 観光 雇用	雇用のしくみづくり／古民家活用の実践／畑付きの住宅／木工／いのししの肉／農機具のロボット化の導入	「地域課題の解決」を仕事にする（えーひだカンパニーのような）／木工さんはwebとカタログで商品、できることの紹介をする／行政がインフルエンサーなどに宣伝広告を委託／鉄製品発信／イベント、お祭り、人を集めて実際に見せる機会
都市基盤 生活	小学校跡地を住民のための開放空間に（地域センターで維持・管理）／レンタルオフィス／暮らしやすい地域、交通手段、インフラ整備	空き家・畑・田んぼをセットで借りれるところをつくる／移住者を増やす（目標値決めて）／住民と移住者の共生、協調／市と地域が協力して移動手段を考える／低価格・低金利での土地提供
自然 環境	安田要害山の維持管理／川遊び（自然）、子どもの体験活動の場／放棄地を無くす、空き家を無くす	
参画 協働 行財政	市長直属の企画課をつくる、第3次計画の遂行をしていく／自治会から抜ける人が多い→一緒に物事を進められない／地域での助け合い、雪かきなど／地域おこし協力隊の若い人になんでもやらせるようにしない	地域の人同士がおしゃべりしあう時間を増やす／地域おこしの拠点（プラットフォーム）／伯太町全体で集まれる場所／若い人が集まれる・話せる→輪が広がる／安来市と企業のタッグ

